

経営比較分析表（令和5年度決算）

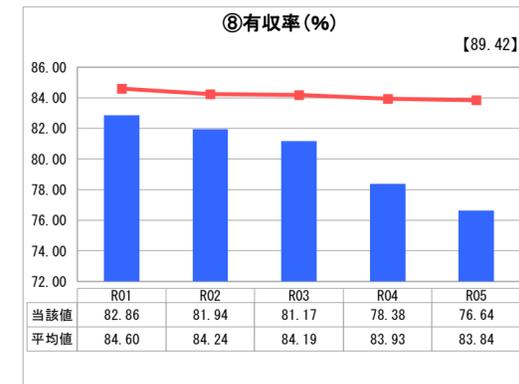
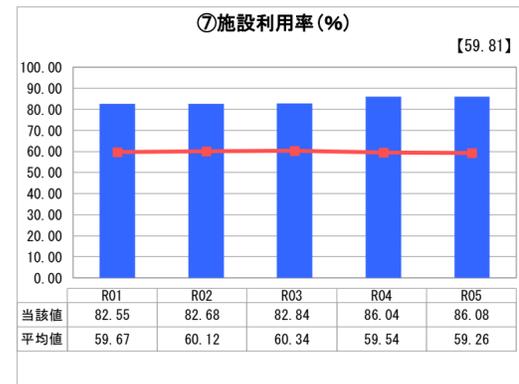
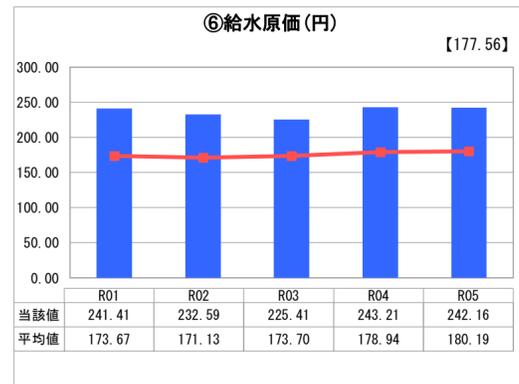
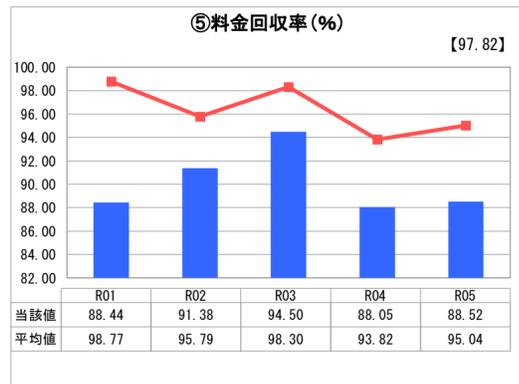
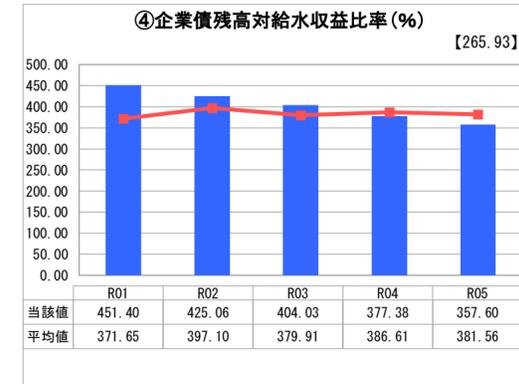
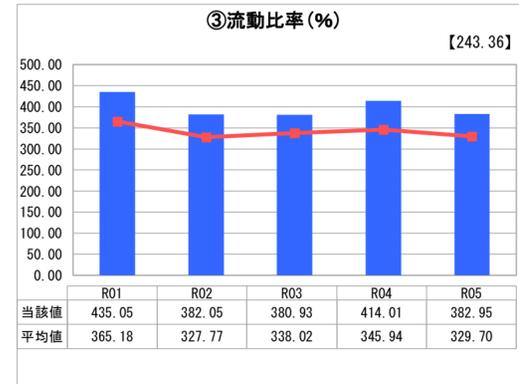
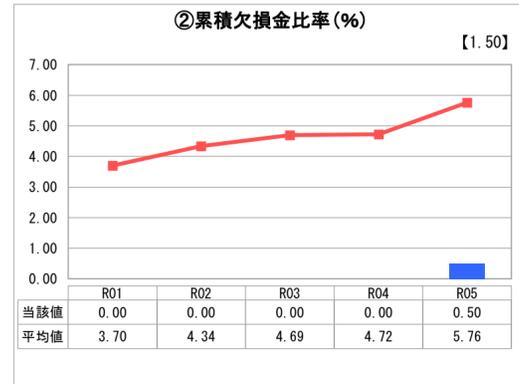
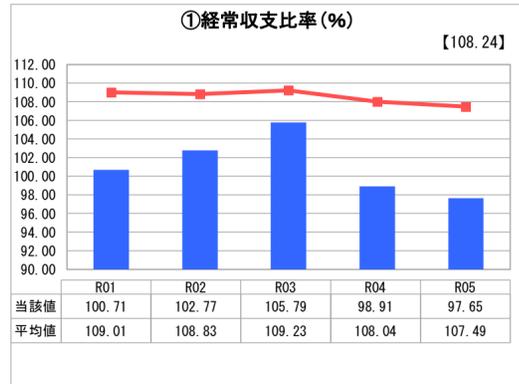
岐阜県 恵那市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	75.89	98.19	3,724	

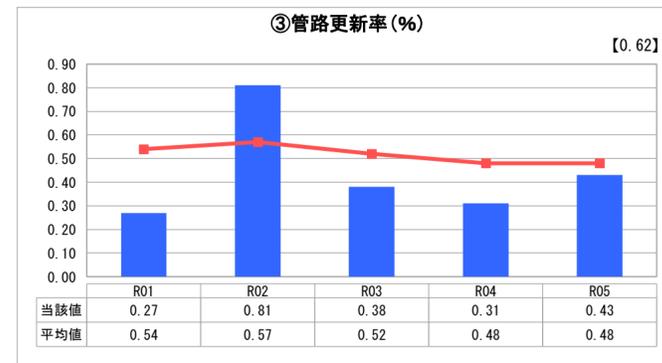
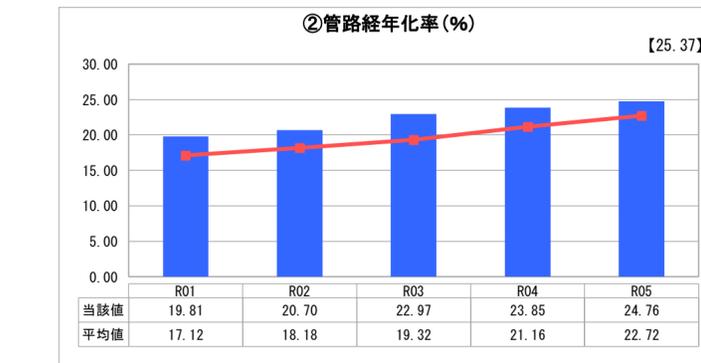
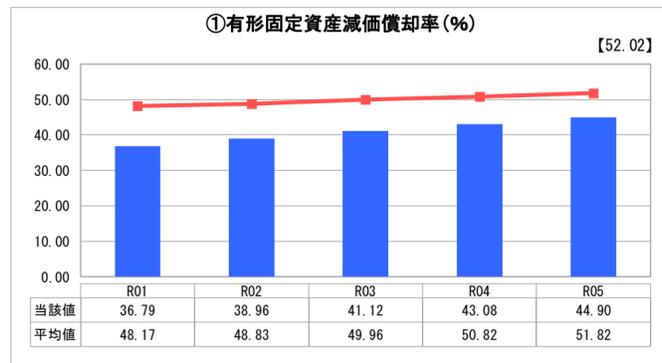
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,868	504.24	92.95
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
45,609	145.50	313.46

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

簡易水道事業を経営統合し、平成29年度から全市一体の水道事業となった。

① 経常収支比率は前年比1.26%下回った。要因は給水人口の減少に伴う給水収益の減少及び老朽化による施設、管路の修繕費等の増加によるものである。

② 累積欠損金比率は0.5%となっているが、過年度からの利益積立金で賄っている。

③ 流動比率は類似団体平均値を上回っており、短期的債務の支払能力を有していると言える。

④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値を下回っている。旧簡易水道企業債に対する繰入により今後の企業債償還資金は確保できているとともに、企業債残高の計画的な減少が図れている。

⑤ 料金回収率は前年比0.47%増加したが、100%を下回っている。

⑥ 給水原価は前年比1.05円減少したが、類似団体平均値を上回っている。⑤、⑥の要因として老朽化による施設、管路の修繕費等の増加によるものである。今後経費削減や給水収益の確保が必要だと考えられる。

⑦ 施設利用率は、毎年80%程度で推移しており、施設能力に過不足はないと思われる。

⑧ 有収率は前年比1.74%低下したため、引き続き漏水調査と老朽管更新事業を行いながら有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は近年上昇の傾向にあるが類似団体平均値を下回っている。令和5年度に策定した「恵那市水道施設整備計画」に沿って計画的な管路更新を進めていく。

② 管路経年化率は年々上昇傾向にあり、類似団体平均値を上回っている。今後、老朽化した管路が急速に増加するため、計画的に更新を行っていく必要がある。

③ 管路更新率は前年比0.12%上回ったが、類似団体平均値を下回っている。漏水防止と安定給水を図るため、更新投資を増やして老朽管の更新工事を促進する。

全体総括

経常収支比率が100%を下回り、料金回収率も減少していることから経営状態が良好ではないことがわかる。今後、人口減少に伴う水需要の減少や施設老朽化に伴う更新需要の増加が見込まれていることから、経営環境はますます厳しくなると想定される。

令和5年度に策定した「恵那市水道事業経営戦略」や「恵那市水道施設整備計画」を活用し、計画的な更新事業を着実に実施し、施設・管路の強靱性を高めていく。また、財源となる給水収益は減少傾向にあるため、適正な料金水準の検討や経営基盤の強化に向けた水道事業運営に努めていく。